


# ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会  
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50  
Eメール [masao.fujishiro@zc.wakwak.com](mailto:masao.fujishiro@zc.wakwak.com)

2009年5月号   
TEL & FAX 047-445-9144  
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

## 反貧困フェスタ 2009

「いま‘はたらく’が危ない」のメインシンポジウムを中心にした、反貧困フェスタが神田一橋中学校で開かれました。校庭では「月桃の花」歌舞団や医療相談会、各ユニオンの青空ブースが賑やかに繰り広げられ、また校舎内の教室での分科会と体育館でのメインシンポも催されました。



シンポジウムでは派遣社員、飯場労働者、シングルマザーの人々や荒川区の図書館非常勤職員の現状が当事者から語られました。そして“安定雇用・直接雇用・均等待遇”への方向性が労組やNPOグループから提起されました。

又、分科会『湯浅誠×中島岳志‘日本社会の“壁”を崩す’』には多くの人々が集まり教室の外から話を聞く状況でした。

中島岳志さんは「東京都で‘パフォーマンス規制条例’が制定されているように、反貧困の活動へのリアクションへの危険性とタメのない社会での既得権益批判の危さ」を日本社会の壁の一つとして指摘しました。

湯浅誠さんからは、雇用危機が進行している中「派遣村」の活動によって、やっと以前より少しは“貧困”に目が向けられて来るようになったことと同時に就職しない人々への“モラルハザード批判”“ミスマッチ等職の選り好みへの批判”の声も出はじめている、日本社会の“岩盤(壁)”が指摘されました。

そして、更に「人々は追い詰められると自己責任を言い始めます。余裕(タメ)のない社会では、ますますこの矛盾が拡大します」ですから「オレの血税を返せ！オレが働いて稼いだ税金を働かない奴らにはあげられない！働かないオマエラはクズだ」といった声が大きくなっています。「しかしそう言っている人々も、追い詰められている状況下でもがいているのです」と“壁”の内実に迫る分析をしました。

“この壁を崩すには？…”といった問に対して湯浅さんは「魔法のボタンはない」のです。それぞれの現場の運動の中で、少しでも前進させる活動をする以外にはない「労働運動と社会保障運動(労働と貧困)を切り離さず、考えていく必要がある」とその解決への方向性を示しました。



湯浅誠さん

## 政令市アンケート調査結果

船橋市・市川市・松戸市・鎌ヶ谷市、4市政令市研究会が、2008.11月に各市1000人を無作為抽出し、市民アンケートを行ないました。

回答率は43.7%で1726人からの回答でした。

合併政令市への移行の賛否で、賛成は鎌ヶ谷市75.8%・松戸市61.1%・船橋市54.2%・市川市53.4%でした。

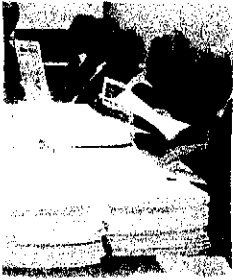
ただ各市とも今後の取り組みとして「政令市移行のメリット、デメリットについてより深い研究」を45%の市民が求めています。

財政見込みや行政サービス、そして何よりも市民自治を実現するにはどのような街がいいのか？考えていきたいと思えます。(F)

## 愛宕山・米軍住宅建設反対

### 岩国市民防衛省へ署名提出

「愛宕山を守る市民連絡協議会(岡村代表)」の市民・市議・県議等15名が“愛宕山に米軍住宅をつくらせないように”との要請文と署名を持って国会を訪れました。(09,4/7)▶「沖縄等米軍基地問題議員懇談会(鳩山由紀夫会長)」の場で防衛省、外務省に対して署名 110,516 筆(岩国市民 50,920 筆)と要請書が渡されました。(衆議院第二議員



会館にて)▶岡村代表は「愛宕山に米軍住宅をつくるのは皇居に米軍住宅をつくるようなものです。人口 15 万人の岩国市での 5 万人の署名は、東京に当てはめれば 400 万人にあたるのです。是非署名の意見を生かして下さい」と要請しました。▶又参加した岩国市民は「270 年の歴史ある愛宕神社で米軍住宅を守らせ、米軍住宅が岩国市を見下ろすのですか」と理不尽さを訴えました。▶防衛省地方協力局のタカオカ氏の答弁があまりにもはっきりしないので、多くの市民から「岩国市庁舎建設補助 35 億円の約束も土壇場で反故にするし、米軍飛行場の沖合い移転の為に愛宕山の掘削に協力したのに、終ってみれば“米軍住宅地”では騙されっぱなしです」と防衛省の不誠実さへの批判の聲が上がりました。▶厚木基地から米空母艦載機 59 機を岩国へ移駐させる米軍再編計画に振り回される岩国市の姿は、まるで沖縄の状況と同じです。▶沖縄選出の喜納議員が言うように「沖縄と岩国の運動を共に戦う」必要性があると思われました。

▶岩国の問題は「市民を大事にするのか?それとも軍事を大事にするのか?」民主主義の根本にかかわる問題です。▶連帯の思いを岩国へ届けましょう!“愛宕山での米軍住宅施設建設絶対反対!!” (F)

## 『議会基本条例』について検討していく!

### ＜議事運営委員会で決定＞

議事運営委員会で(09,3/19)で「議会基本条例」について、今後勉強会を含めて研究、検討していくことが決定されました。その方法等については次期の議運(6月～)で話し合われるよう申し送りすることが確認されました。



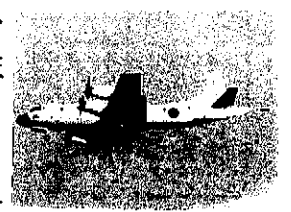
## とっこめ桜まつり

貝柄山公園と捕込で、とっこめ桜祭りが催されました。JRA の協力でポニーと木曾馬が参加。貝柄山公園では桜の花びらの舞う中、子供たちが木曾馬に乗ったり、竹馬遊び、そしてお茶席と楽しい祭りでした。捕込には 140 年ぶりに木曾馬が立ちました。国史跡‘捕込’‘野馬土手’を活かした街づくりを進めていきましょう。

## P3C から部品が落下!!

3月30日 16:10 頃佐倉市羽鳥上空を飛行中の海上自衛隊下総基地所属の P3C から緩衝のため機体に貼られているマグネットシート状のフラップが落下しました(22cm×5cm×2mm)。

被害は確認されていません。



千葉県は即、下総基地に対して①部品の落下は重大事故に繋がるからその原因究明を徹底されたい②安全対策徹底と共に対応策について県へ報告されたい、と申し入れました。3月31日に下総基地司令から(1)落下の原因は接着剤の劣化によるもの(2)防止策として航空機全機の点検を実施(3)搭乗員による飛行前点検の徹底の指示と実施が回答されたとのこと。

重大事故に繋がる‘飛行機部品の落下’……国民の命と財産を守るはずの自衛隊の行動の中であってはならないことです。今回のように小さなものでも落下させてしまった責任はきちんと明らかにして対処すべきです。

\*\*\*\*\*お知らせ\*\*\*\*\*

★憲法九条の集い in 千葉・習志野文化センター  
5/2 13:00～ チケット 500 円(ふじしろ迄)

高遠菜穂子さん・奥平康弘さんの講演

★金子勝講演会 松戸市民会館

5/3 14:00～ チケット 500 円(ふじしろ迄)

★『市民自治』 市民参加と議会基本条例

5/9 13:30～16:30 中央学院大 1000 円

栗山町元事務局長中尾さんも参加します。

\*\*\*\*\*きょうどう事務所トライ 案内\*\*\*\*\*

□法律弁護士無料相談 要予約:ふじしろ市議迄

5/23(土)・6/27(土)・7/25(土) 13:00～

□暮楽会 毎週金曜日 13:00～

